



ソル倶楽部編／ソル・ギター作品全集

Op.15b ソナタ・ハ長調

Sonate

1826年または1827年に出版されたパリのメッソニエ版の改訂版を使用した。初版は1818年または1819年に出版されているが、どちらも出版番号は110である。

被献呈者はなし。

メッソニエ以前に1810年頃にパリでカストロ Salvador Castro de Gistau によって、《ソナタ第2番》として出版された。これはソルが関与していない出版であり、カストロはスペインで出版・販売されていた楽譜をもとにしたと考えられる。この時代のスペインの楽譜出版は、出版といってもコピストによる筆写譜である。

メッソニエ改訂版の修正内容は、細部の正確さを除くと、概ねカストロ版への回帰となっている。かと言ってメッソニエ初版が胡散臭い楽譜かということ、カストロ版よりはすっきりした内容を持っている。しかし、後に改訂版を出すということはソルが関与していなかった可能性が高い。

さて、昔から話題になる冒頭の並行8度を含む和音について。これは上にあげた3つの版に見られるのだが、改訂版でも修正されなかったということは、故意に厚い和音が要求されていると考えるべきだろう。カストロ版に至っては、右親指を滑らせて弾く指示であるスラッシュ記号まで書かれているのだから。

菅原 潤

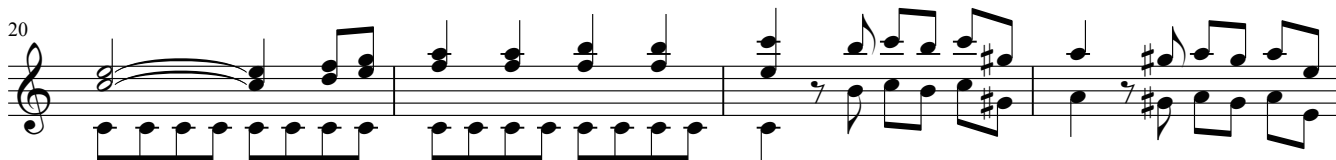
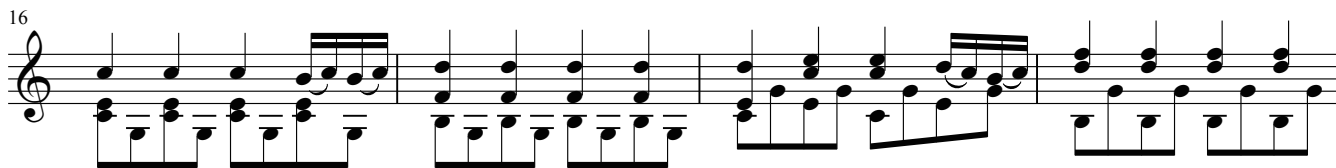
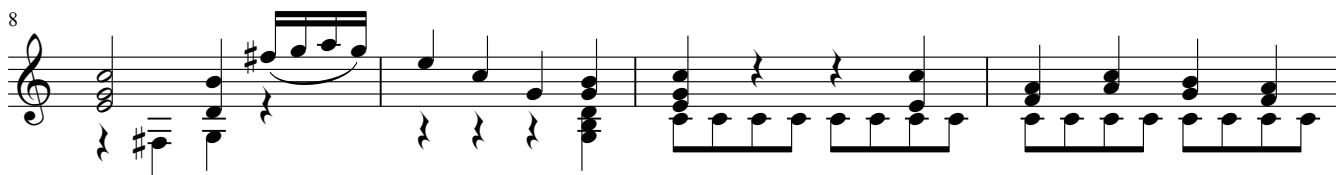
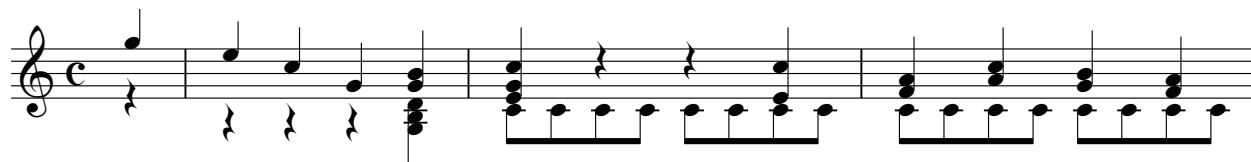
※ 2009年10月2日公開

Sonate

Edited by Jun Sugawara

Allegro moderato

Fernando Sor, op.15b





24

28

33

37

41

45

49

53

56

59

62

65

68

72

75



78

82

86

90

94

98

101

104

107

110

114

118

122

126



130

134

138

142

146

150

153

156

160

164

168

172

175